

2021年3月期 決算説明資料

(2020年4月~2021年3月)

komatsumateRe 小松マテーレ株式会社

1) 2021年3月期 決算の概要

2) 2022年3月期 業績見通し

2021年3月期 決算概要



(単位:百万円)

項目		2020年3月期	2021年3月期	増減		
- 現 日		実績	実績	金額	増減率(%)	
売上高		36,525	30,018	△6,507	△17.8	
営業利益		1,612	1,416	△195	△12.1	
経常利益		2,152	1,916	△236	△11.0	
親会社株主に帰属 当期純利益	属する	1,375	1,810	434	31.6	
一株当たり純資産	Ē	809.39円	855.78円			
一株当たり当期純利益		32.06円	42.38円			
				1		
期中平均為替	USD	108.70円	106.10円			
レート	EUR	120.81円	123.76円			

単体·国内子会社·海外子会社別 売上高·営業利益



(単位:百万円)

			2021年3月期 実績	前年実績	前年比 増減
(1) E	¥ <i>\</i> +	売上高	26,516	30,604	△4,088
1)=	単体	営業利益	1,509	1,470	40
	品出现这个计	売上高	7,118	8,753	△1,635
	国内関係会社	営業利益	156	133	23
	コフカい.	売上高	3,459	4,931	△1,472
	コマクソン	営業利益	49	52	∆3
	スの 曲	売上高	3,659	3,822	△163
	その他	営業利益	107	81	26
(a) *	크시템 <i>(</i> (조수)	売上高	1,938	3,808	△1,870
3)#	等外関係会社	営業利益	△262	△6	△257
	単純合計	売上高	35,572	43,165	△7,593
(1+2+3	営業利益	1,403	1,597	△194
油	士号田車々	売上高	△5,554	△6,640	1,086
	吉調整	営業利益	14	16	△2
連絡		売上高	30,018	36,526	△6,507
	i o	営業利益	1,417	1,612	△196

<コメント>

- ●(単体·国内子会社)
- ・コロナ禍の消費不振により売上が大きく減少
- ・BtoC参入にて利益増加
- ・売上ダウンに対し、コストダウンを 図り、国内においては利益を確 保
- ●(海外関係会社)

蘇州工場において、コロナの感染 拡大によるロックダウンの影響及 び中国事業の再編による生産活 動の停止により減収減益となった。

主な利益変動要因

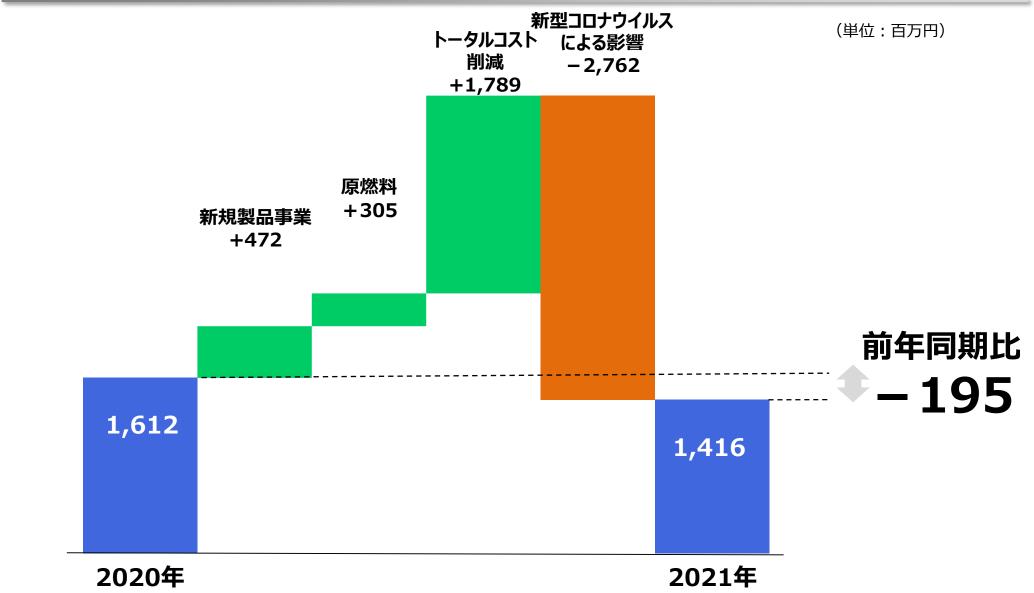


(出法, 五七四)

	<u> </u>				<u>(単位:百万円)</u>
損益区分	利益変動要因(前期比)	変動金額	営業利益	経常利益	当期利益
	・本体ファブリック事業	△432			
	·本体製品事業	472			
営業利益	・国内子会社	23	△196		
	•海外子会社	△257			
	·その他	△2		△236	
	・為替差益	31			
554.44 P1 TO 34	·持分法利益	△26			
営業外損益	・受取利息、受取配当金	△22			435
	·その他	△23			
	•固定資産売却	866			
	・投資有価証券売却	△76			
特別損益	・投資有価証券評価損	△169			
	•関係会社整理損	△449			
	·その他	△56			
その他	・法人税等	555			

営業利益増減分析





5

連結業績のセグメント別内訳



(単位:百万円)

		売上高				営業利益			
	セグメント	2021年 前期		増減		2021年	前期	増減	
		3月期 実績	実績	金額	率 (%)	3月期 実績	実績	金額	率 (%)
繊	維事業計	29,400	35,906	△6,505	△18.1	1,368	1,580	△212	△13.4
	衣料ファブリック	19,228	25,176	△5,947	△23.6	860	1 564	△704	△45.0
	資材ファブリック	8,476	9,913	△1,437	△14.5	000	1,564	△70 4	∆45.0
	製品部門	1,696	817	879	107.6	508	17	492	_
物	流·物販事業	617	618	△1	△0.2	49	32	17	52.3
	合計	30,018	36,525	△6,507	△17.8	1,417	1,612	△196	△12.1

<コメント>

●衣料ファブリック

中東向けの民族衣装分野においては計画通り推移も、新型コロナウイルスの影響により国内外とも売上減少

●資材ファブリック

自動車業界の需要持ち直しにより、車輌分野においては計画通り推移も、車輌以外は新型コロナウイルスの影響により減少

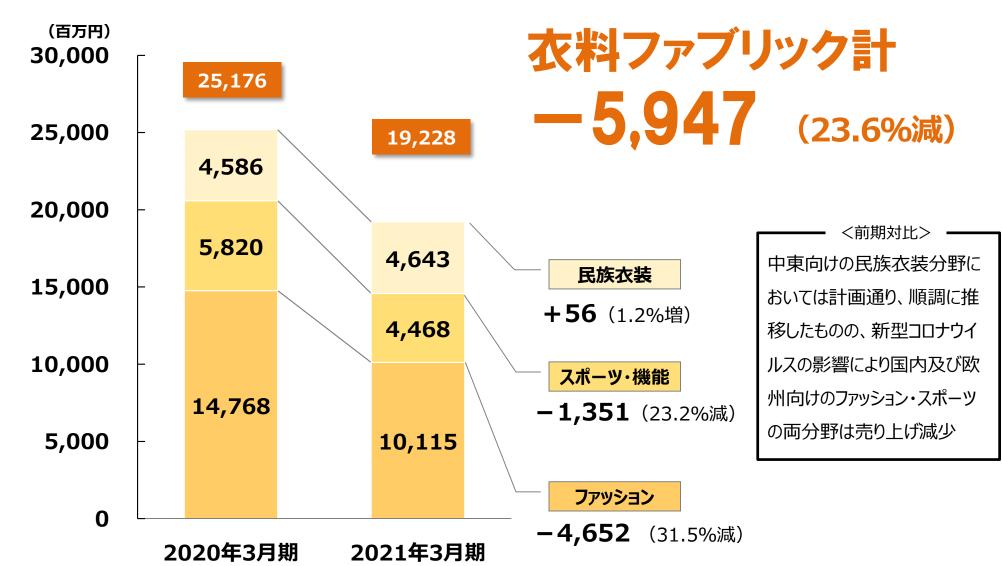
●製品部門

抗ウイルス加工素材"エアロテクノ"の上市とBtoC参入により、売上・利益を拡大

繊維事業(衣料ファブリック部門)



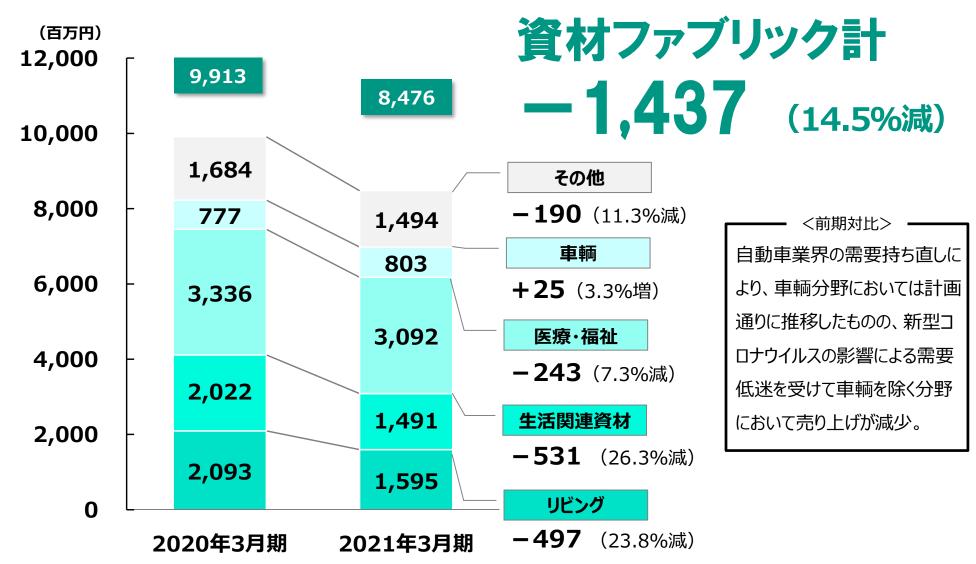
(単位:百万円)



繊維事業(資材ファブリック部門)



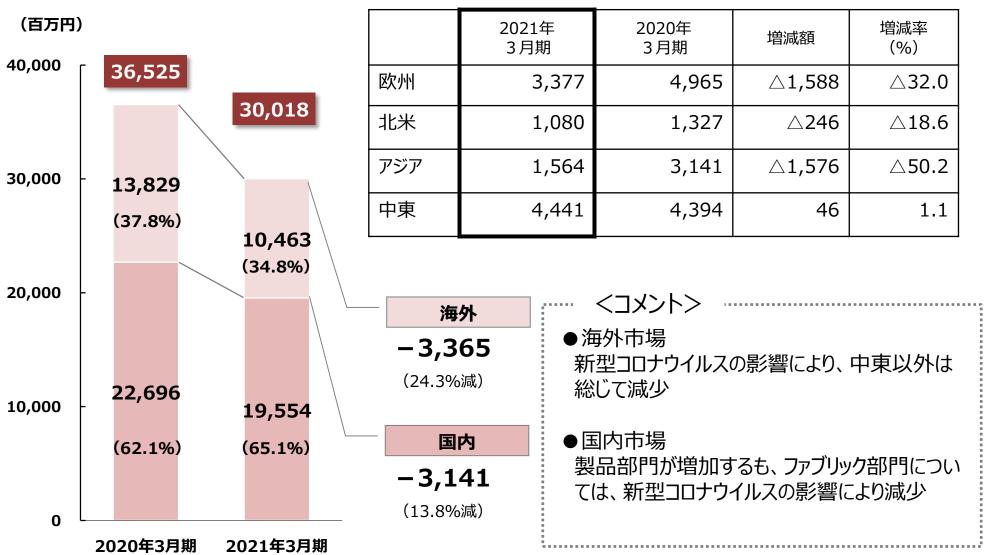
(単位:百万円)



市場別売上高(国内·海外)



海外市場の内訳



連結貸借対照表



(単位:百万円)

		2021年3月期	2020年3月期	増減		
流動	資産合計	20,459	21,100	△640		
	現金預金	9,956	8,603	1,352		
	受手·売掛金	6,323	7,714	△1,391		
	棚卸資産	3,696	4,537	△841		
	その他流動資産	483	244	238		
固定	資産合計	25,176	24,873	302		
	有形固定資産	6,728	8,032	△1,304		
	無形固定資産	245	356	△111		
	投資その他資産	18,202	16,484	1,718		
資産合計		45,635	45,973	△338		

<増減コメント>

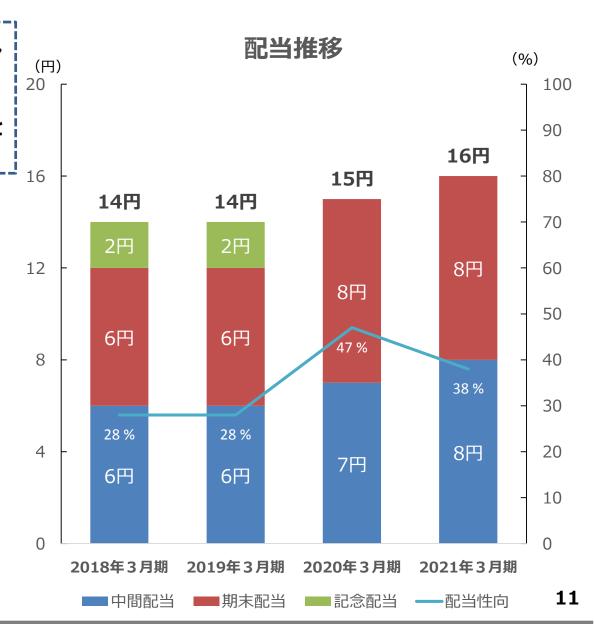
- ●有形固定資産:取得7億/償却11億/売却8億
- ●投資その他の資産:投資有価証券評価益の増加15億
- ●自己株式:75万株取得7億
- ●自己資本比率: 79.0% ← 75.5%

		2021年3月期	2020年3月期	増減
流重	协負債合計	5,460	7,047	△1,587
	支手・買掛金	3,861	4,637	△775
	その他流動負債	1,598	2,410	△812
固定	官負債合計	4,101	4,070	31
	退職給付に係る負債	3,666	3,651	15
	その他固定負債	434	418	15
負債	合計	9,561	11,118	△1,556
株主	E資本合計	35,623	35,339	284
	資本金	4,680	4,680	0
	資本剰余金	4,602	4,701	△99
	利益剰余金	27,197	26,075	1,122
	自己株式	△856	△119	△737
その他の包括利益/非支配株主		450	△483	933
純資産合計		36,073	34,855	1,218
負債	責・純資産合計	45,635	45,973	△338

剰余金の配当について



- ◆当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
- ◆配当性向については当期純利益の30~50%を 目安としております。
- 当期末の剰余金の配当につきましては、1株につき8円(普通配当)とすることといたしました。
- ●今期の中間配当金額と合わせた年間配当金は、 前期比1円の増配となる1株当たり16円といた しました。
- ●期末配当金の総額 338,158,920円
- 当期末の配当性向は38%となっております。
- ●剰余金の配当が効力を生ずる日 2021年6月28日(月)





1) 2021年3月期 決算の概要

2) 2022年3月期 業績見通し

2022年3月期 業績見通し



(単位:百万円)

	2022年3月期			増減(通期比較)		
項目	2021年3月期 実績	上期予想	下期予想	通期予想	金額	増減率 (%)
売上高	30,018	14,500	17,500	32,000	1,982	6.6
営業利益	1,416	700	1,100	1,800	384	27.0
経常利益	1,916	950	1,350	2,300	384	20.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,810	750	1,100	1,850	40	2.2

43.89円

期中平均	USD	106.10円
為替レート	EUR	123.76円

100円

対処すべき課題



①先端技術を活かした新たな価値の創造

●染色技術のみならず、高度機能加工、炭素繊維複合材料開発などの先端技術を活かし、積極的に用途開拓を図る など新たな価値を創出する

②持続可能な社会の実現にむけた取り組み

- ●「小松マテーレ・サスティナビリティ・ビジョン」の課題への取り組みを軌道に乗せ、より高い環境課題(CO₂・水・廃棄物削減等)と、防災・減災や地域貢献活動を推進します。
- ●「環境・バイオ技術開発部」を新たに設置し、排水処理汚泥の減容化を図り、廃棄物削減とコスト削減を実現し、 また、本技術を新たな事業として展開を図る

③BtoCモデルの本格運用及び情報発信力の強化

●ネット販売事業(BtoC)のさらなる拡大、「YouTube」を利用した「ウェビナー」の定期配信、新たな試みとして「デジタルファブリックショールーム」の立ち上げなど、情報発信ツールを充実し、顧客提案力を強化する

4海外市場・非衣料分野の強化

●海外市場並びに非衣料分野を積極的に拡大し、当社の強みであるファッション衣料分野と同様に、非衣料分野への 継続的な経営資源を投入する

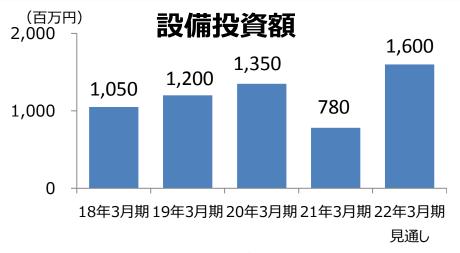
⑤生産性向上及びコスト削減にむけた取り組み

●計画的な設備投資により、生産工程の合理化、ITやAIの導入・活用、短時間で染色を可能とする糸と染色技術の適用拡大、原材料及び調達ルートの見直しなどにより、生産性向上とトータルコスト低減に取り組む

14

設備投資額·減価償却費推移







設備投資額 内訳

(単位:百万円)

項目	2021年3月期 実績	2022年3月期 見通し
製造関連投資	473	828
開発関連投資	15	160
環境関連投資	122	200
システム関連投資	70	316
その他	100	96
合計	780	1,600

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。 実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。

